

駐車場の付加価値上げ「変革へ挑戦」

代表取締役社長 野坂 信嘉氏



日本システムバンク

福井市中央3-5-21

全国約7300カ所でのコインパーキングを運営・管理。駐車場の総合商社として、運営から駐車場機器の販売・メンテナンスまでの一貫体制を強みとする。28年前の創業当初から準備を進め、昨年4月には名古屋証券取引所の「メイン市場」に上場した。「これは単なるファーストステップで、スタート」。コロナ禍の出口が見えたタイミングで、駐車場の稼働率が上がるという、好機を捉えた。

さらなる稼働率アップで対応する。「女性やお年寄りも駐車しやすい、快適な駐車場を目指したい」。フラップ（ロック板）がなく、監視カメラで管理する主力の「フラップレス式」は利用者が入出庫しやすく、整備拡大を図っていく。

提供するスマートフォンアプリ「SmooPA（スムーパ）」は、駐車場の検索やキャッシュレスの決済が可能で利便性向上につなげるほか、「駐車場の付加価値を上げる」との狙いで昨年10月、石油売り手のENEО（エネオス）と組み、カーシェアリングサービスを開始。北陸の駅周辺にある駐車場に計10台を導入した。北陸新幹線敦賀開業を控え、観光・ビジネス客の足として「2次交通の課題解決に貢献したい」と見据える。

今年「変革への挑戦」を掲げ、自動車業界の技術革新「CASE（ケース）」に取り組みむと力を込める。「自動運転車両による無人駐車の研究や近隣店舗と連携したアプリの駐車料金自動割引サービス、EV充電ステーション増設などを進めたい」と展望する。廃校などを利用したドローンスクールも力を入れていく。